

伊豆箱根鉄道アフラック代理店による アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度への寄付について

伊豆箱根鉄道株式会社(所在地:静岡県三島市、代表取締役社長:伍堂文康)は、本年11月23日(水・祝)に本社で開催した“いずはこね ふれあいフェスタ2022”におけるイベント収入の一部を、代理店業務委託契約を締結しているアフラック生命保険株式会社(所在地:東京都新宿区、社長:古出眞敏)沼津支社を通じて高校生を対象とした奨学金制度に寄付いたしました。

これについて、アフラック沼津支社の藤田秀隆支社長に当社 新宅広樹取締役上席執行役員より募金箱を手渡しますので、下記のとおりご案内いたします。

記

1. 日 時 2022 年 12 月 7 日(水) 10 時 00 分～
2. 場 所 アフラック生命保険株式会社 沼津支社
静岡県沼津市大手町4-3-45 アゴラ沼津7F
3. 募金内容 2022 年 11 月 23 日(水・祝) “いずはこね ふれあいフェスタ 2022”にて、
当社の保険課が行なったイベント「ラッキーボール」の全収入 **40,072円**
※当日の入場人員……約2,600名
(1回50円以上の任意の料金を払っていただき、ボールを穴に入れるゲーム)

“アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度”とは？

“アフラック小児がん経験者奨学金”とは、小児がんを経験した高校生や、がんで家庭の主たる生計維持者を亡くし、経済的理由から修学や進学が機会が狭められている高校生への支援を目的とした奨学金制度です。「がん遺児奨学基金」として1995年にアフラックとその販売代理店組織が共同で設立した制度に始まり、これまでに3,300名を超える奨学生を支援し、累計の奨学金額は20億円を超えています(令和4年6月末時点)。2014年からは、奨学生の対象に小児がんを経験した高校生を加えた「アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度」として「公益財団法人がんの子どもを守る会」が運営を開始しています。当代理店では、この寄付を継続することにより、一人でも多くの小児がん経験者、がんで親を亡くした遺児の助けになればと考えております。

以 上